

「ネットワーク図」

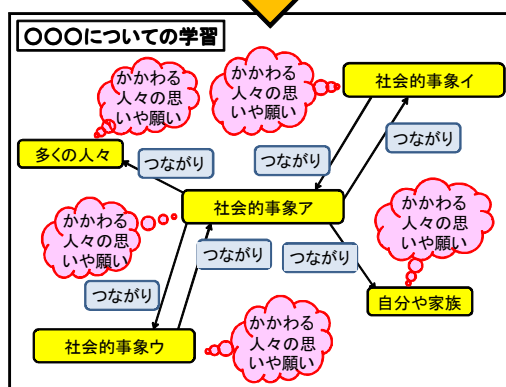
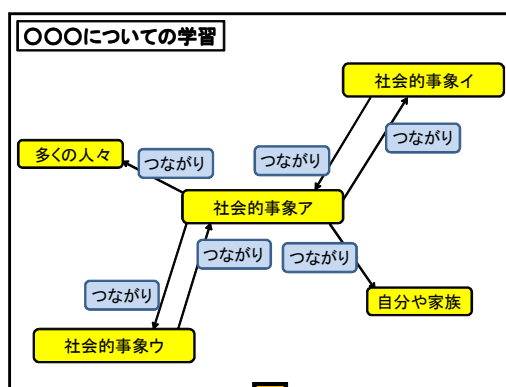
作成事例集

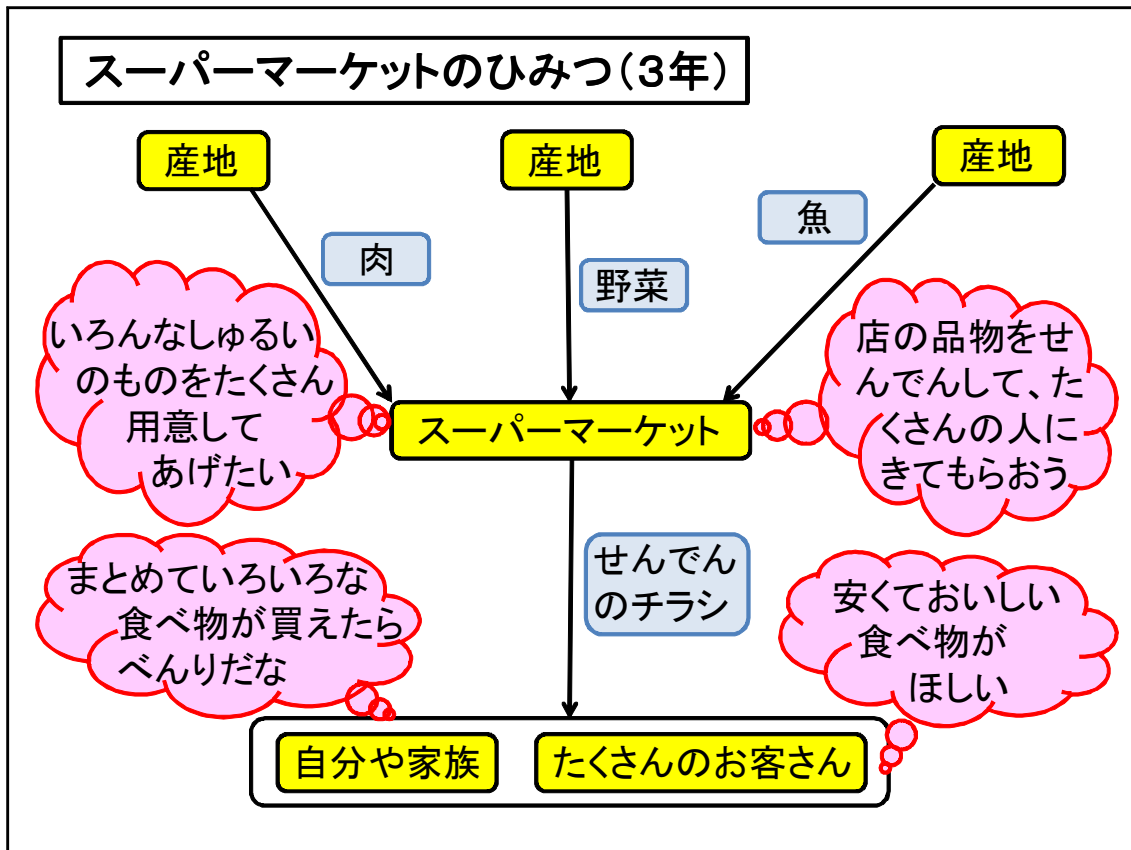
【「ネットワーク図」の基本的な作成方法】

①学習の対象である社会的事象の事象やそこにかかわる人々（「自分」を含む）を『黄』の付箋紙に書いて台紙に貼り、それらがどのようにつながっているかを考え、矢印で結ぶ。

②具体的なつながりである、事象間でやり取りされるものを『青』の付箋紙に書いて、矢印の付近に貼る。

③自分を含めた社会的事象にかかわる人々の思いや願いを考え、『赤』の吹き出し型の付箋紙に書いて、事象やかかわる人々の付近に貼る。



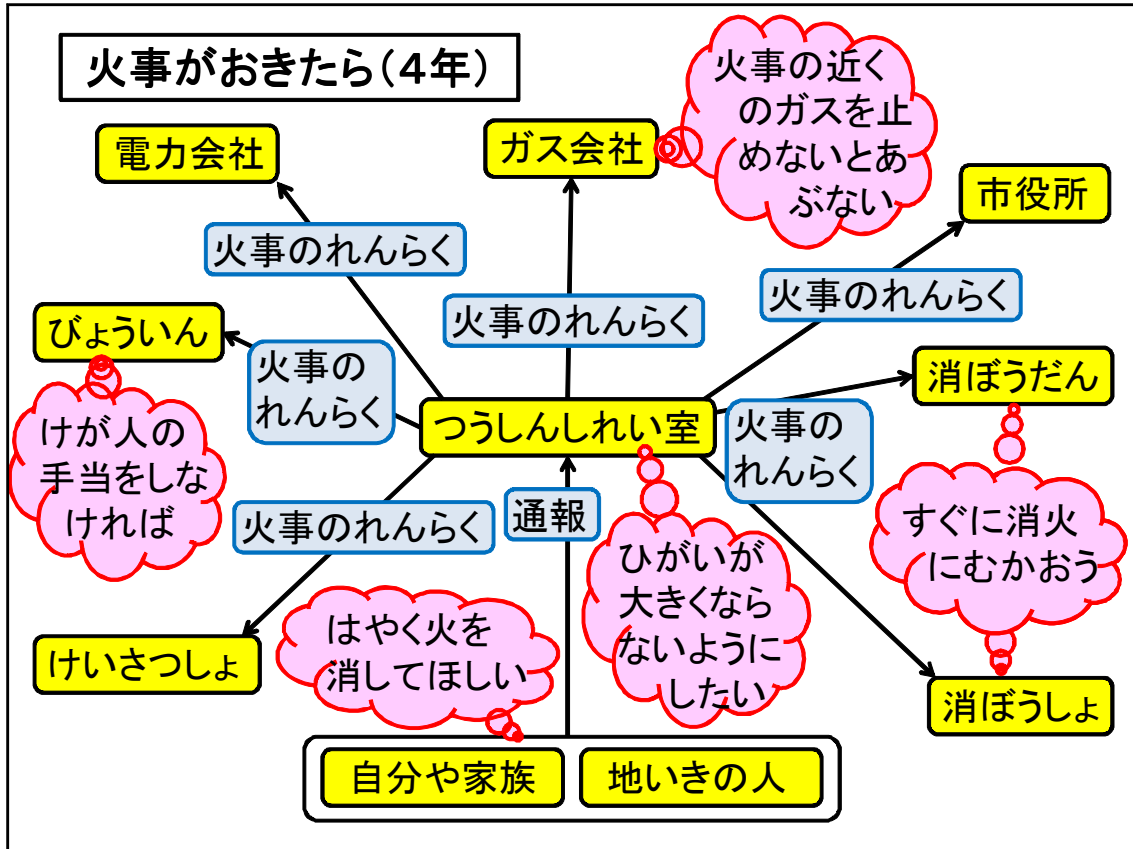


① 3年生の「地域の生産や販売」の学習の「追究する」過程における、
商店の工夫について考える際の作成例

ここではまず、原材料や商品を他地域から仕入れていることや様々な宣伝を消費者に対して行っている、といった商店の仕組みを「ネットワーク図」に表します。そうすることで、商店での販売にかかわる人々のつながりを意識することができると思います。

そして、「ネットワーク図」に表したことを基に、商店で働く人々の立場に立って思いや願いを考えることで、販売にかかわる人々のいろいろな工夫について気付くことができるのではないかと考えます。

さらに「まとめる」過程では作成した「ネットワーク図」を活用し、販売者側の工夫と関連付けながら、自分を含めた消費者側の立場に立って思いや願いを考えることで、地域の商店が自分たちの生活を支えていることに気付くことができるのではないかと考えます。



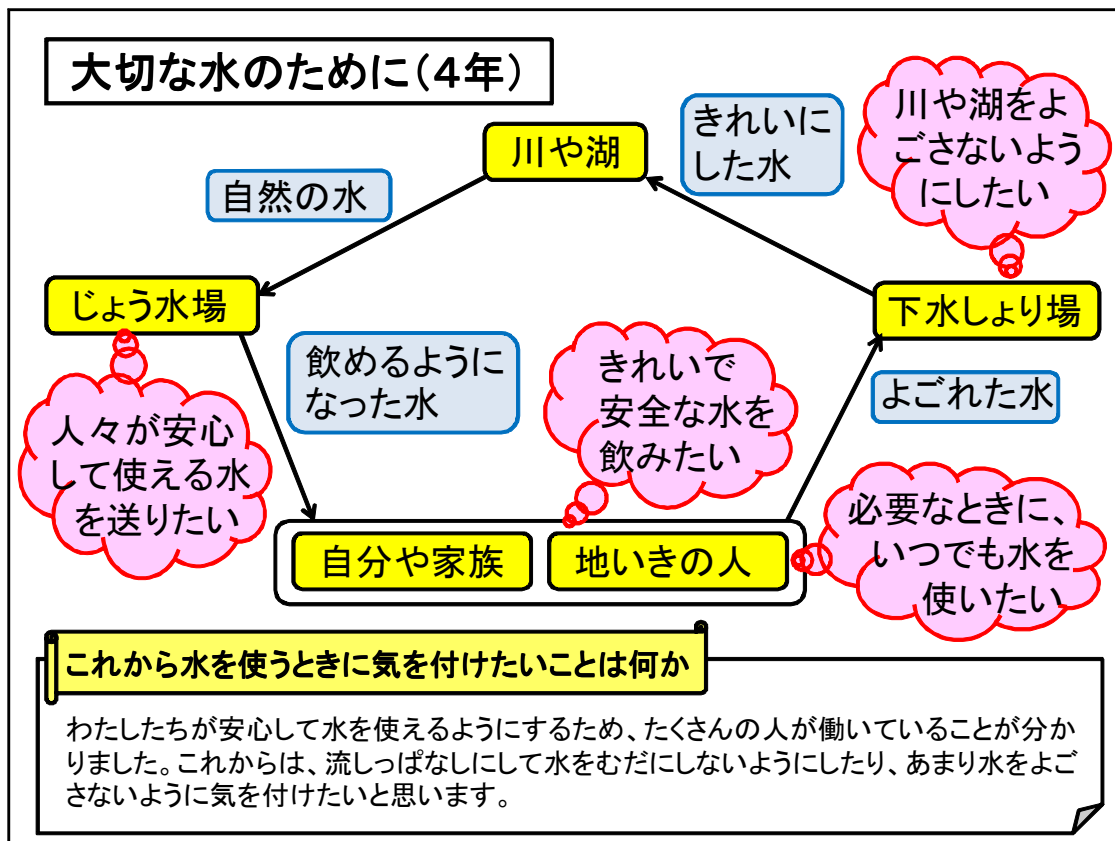
② 4年生の「地域社会における災害及び事故の防止」の学習の

「追究する」過程における、関係する諸機関の連携について考える際の作成例

ここではまず、災害や事故が起こった際に関係の諸機関が連携して、緊急に対処する体制の仕組みを「ネットワーク図」に表します。そうすることで、緊急時には多くの場所や人々が互いに協力しながら、その対処にあたっていることが視覚的にとらえやすくなると考えます。

そして、「ネットワーク図」に表したことを基に、かかわる人々の思いや願いを考えることで、なぜこのような体制をとっているかについて気付くことができるのではないかと考えます。

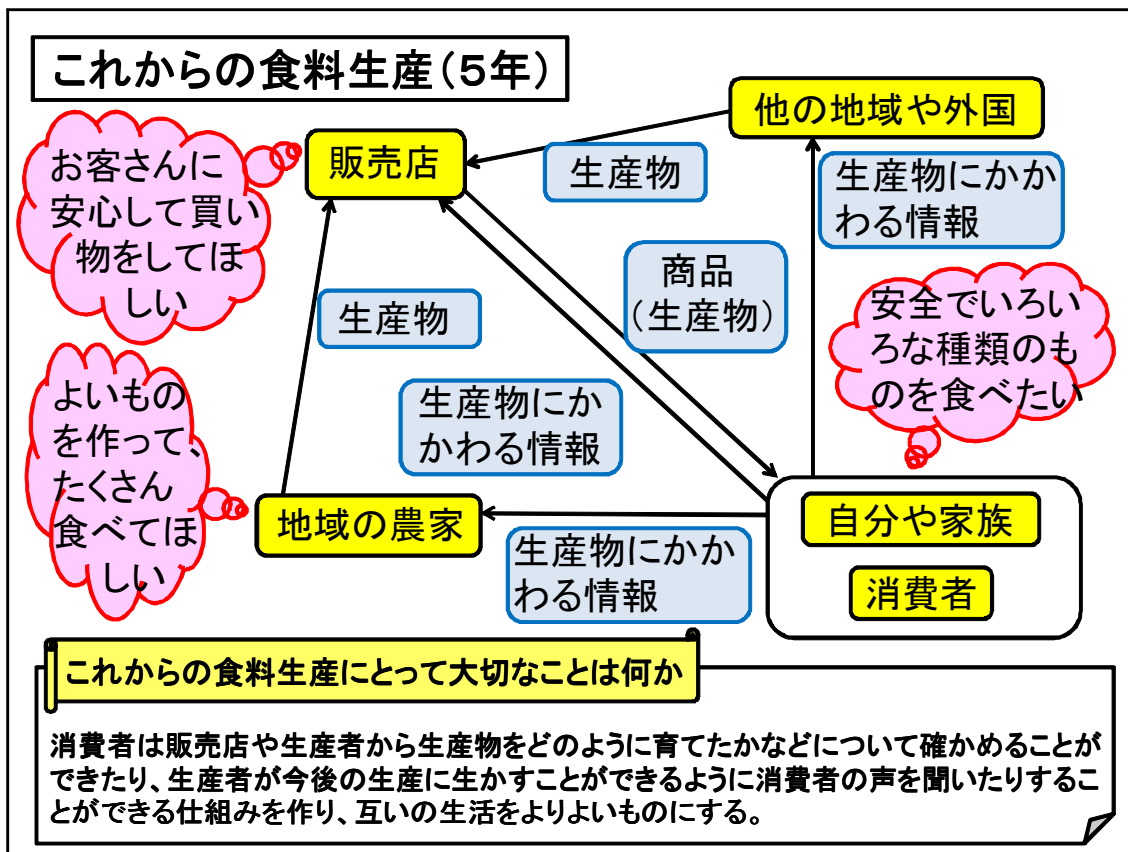
この作成例は、事故や災害が起きたといった、緊急時の対処の仕方を表したものですが、例えば火災を取り上げた場合には、消防署を中心に関係の諸機関が様々な火災に対する備えをしていることや火災予防の活動を行っていることを「ネットワーク図」に表し、それを基にかかわる人々の思いや願いを考えることで、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることに気付くことができる、といった活用方法もあると考えます。



③ 4年生の「飲料水の確保」の学習の「まとめる」過程における、
これからの水資源の活用について考える際の作成例

ここではまず、学習内容を振り返り、わたしたちが利用している飲料水は川や湖の水が浄水場によってきれいにされたものであること、わたしたちが出した生活排水は下水処理場によってきれいにされ、また川や湖に流されていることを「ネットワーク図」に表します。そうすることで、多くの人々のかかわりの基で飲料水の確保がなされていることに気付くことができると考えます。

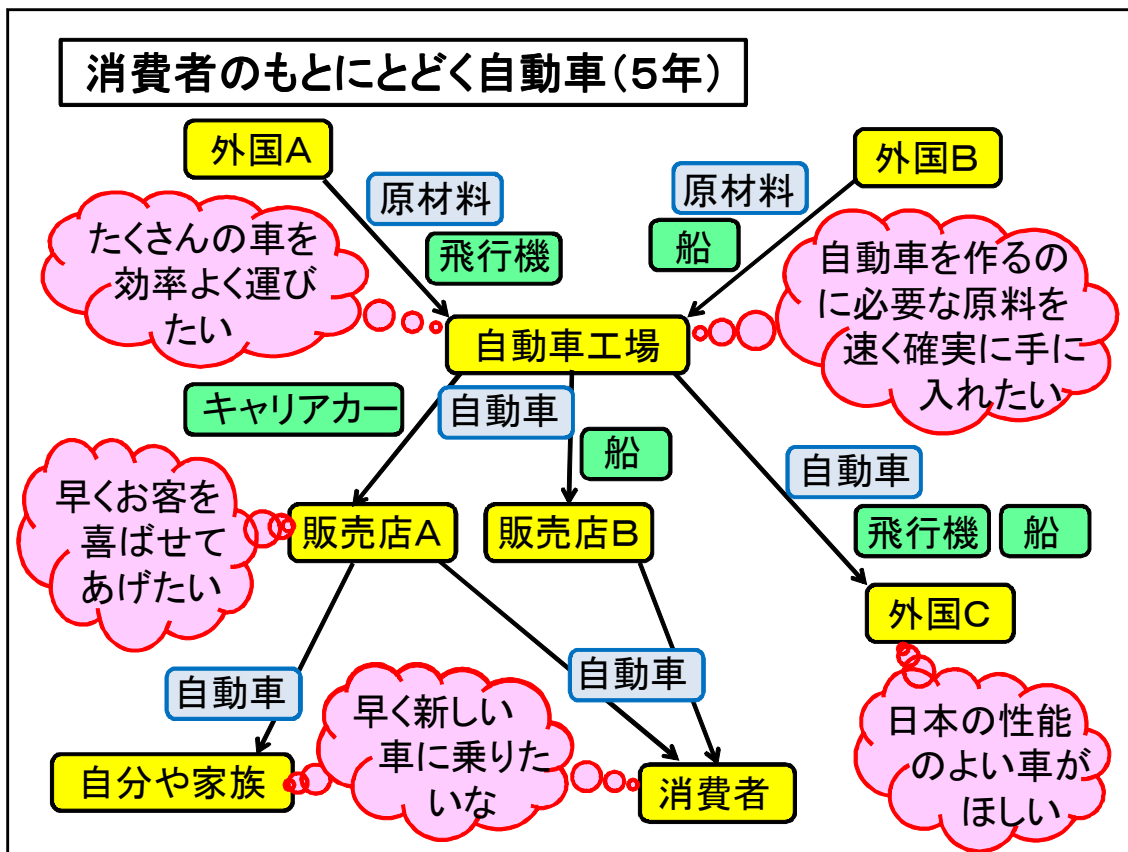
そして、「ネットワーク図」に表したことを基に、かかわる人々の思いや願いを考え、それらを比較したり関連付けたりすることで、児童はこれから水資源をどのように利用していったらよいかを多角的にとらえながらまとめることができるのではないかと考えます。



④ 5年生の「我が国の食料生産」の学習の「まとめる」過程における、
これからの食料生産の在り方について考える際の作成例

ここではまず、学習内容を振り返り、わたしたちの主な食料は地域の生産者からだけでなく、国内の様々な地域や外国で生産されたものが送られてくることを踏まえ、安全・安心な食料を手に入れるための仕組みについて考え、「ネットワーク図」に表します。

そして、多くの人々のかかわりの基でわたしたちの食生活が支えられていることを意識しながら、「ネットワーク図」に表したことを比較したり関連付けたりすることで、児童はこれからの食料生産はどうあるべきかを多角的にとらえながらまとめることができるのではないかと考えます。また、自らよりよい食料生産の在り方について考えることで、社会的事象と自分の生活とのかかわりの実感を深めることができるのではないかと考えます。

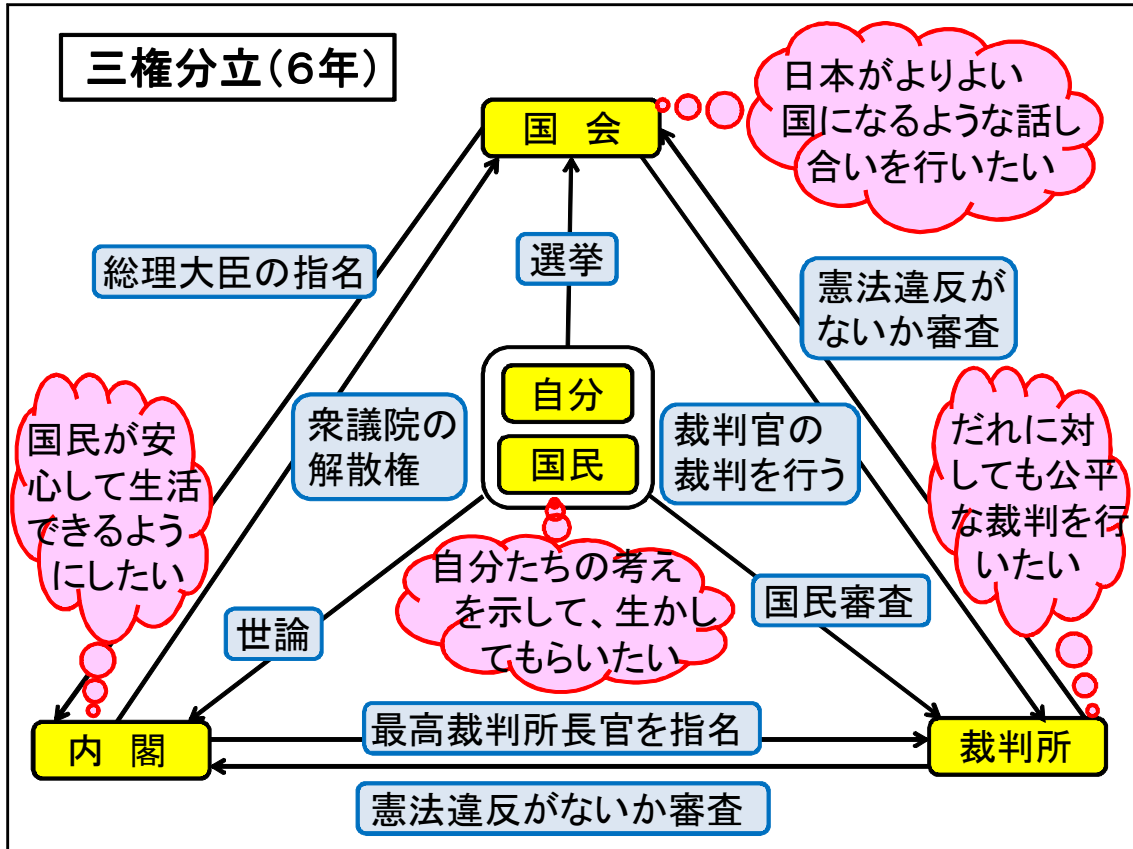


⑤ 5年生の「我が国の工業生産」の学習の「追究する」過程における、貿易や運輸が果たす役割について考える際の作成例

ここではまず、原料や工業製品がどのように運ばれているかを「ネットワーク図」に表します。ここでは、原料や工業製品などをどのような手段で輸送しているかということも重要であると考え、それらを緑の付箋紙に書いて矢印の付近に貼る、という方法を取り入れました。そうすることで、原料や工業製品の輸送の際には様々な手段が用いられていることを理解することができると思います。

そして、「ネットワーク図」に表したことを基に、かかわる人々の思いや願いを考えることで、このような運輸の働きが工業生産を支えていることについて気付くことができるのではないか、と考えます。

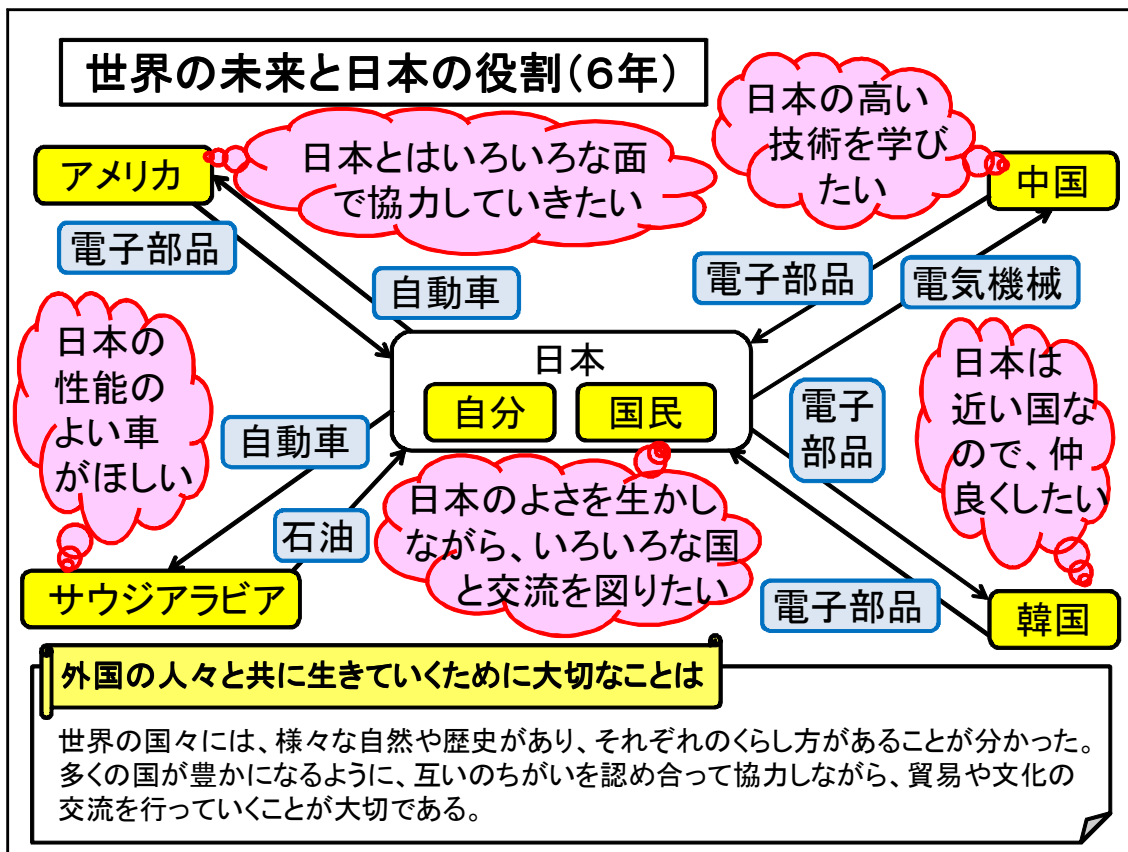
これは、工業生産の学習だけでなく、農業や水産業における運輸の果たす役割を考える学習の際にも活用できるのではないか、と考えます。



⑥ 6年生の「我が国の政治の働き」の学習の「追究する」過程における、
三権分立について考える際の作成例

ここではまず、立法権をもつ国会、行政権をもつ内閣、司法権をもつ裁判所のかかわりとそれら三権と国民とのかかわりを「ネットワーク図」に表します。そうすることで、三権が相互に関連し合っていることや国民の意見を政治に反映させる仕組みについて理解することができると思います。

そして、「ネットワーク図」に表したことを基に、かかわる人々の思いや願いを考えることで、国民主権と関連付けながら、政治の大切な役割は国民生活の安定と向上を図ることであることについて気付くことができるのではないかと考えます。



⑦ 6年生の「世界の中の日本の役割」の学習の「まとめる」過程における、
 これからの国際交流の在り方について考える際の作成例

ここではまず、学習内容を振り返り、日本は様々な国と貿易を行っていることを「ネットワーク図」に表します。また、貿易に限らず、文化やスポーツの交流を具体的なやり取りとして取り上げることもできると考えます。そうすることで、日本と経済や文化などの面につながりが深い様々な国があること、また、それらの国には日本とは異なる様々な文化や習慣があることを理解することができると考えます。

そして、「ネットワーク図」に表したことを基に、日本とつながりの深い国の人々の思いや願いを考え、それらを比較したり関連付けたりすることで、異なる文化や習慣を互いに認め合うことが大切であることやこれからの交際交流をどのように行っていくとよいかを多角的にとらえながらまとめることができるのではないかと考えます。